

平成30年度 下京区運営の総括表（実績）

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために  
 テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ（人をつなぐ）

基本方針	30年度重点取組				
	重点取組名	目標 ※記載変更不可！	実績	備考（課題や総括、今後の方針等）	所属等
基本方針Ⅰ-① 健やかな暮らしを 地域力で育む	地域ぐるみの子育て支援	子どもを地域や社会の宝として大切に育む、京都ならではの「はぐくみ文化」を伝承・創造するため、子どもの総合支援窓口の機能を活かして、地域ぐるみの子育て支援の環境づくりを推進し、子育て家庭の孤立化や児童虐待などの未然防止を図ります。 30年度は、専門職によるアウトリーチ（積極的に地域に向かい、区民に寄り添う）型支援を推進するとともに、29年度に開設した、地域の身近な子育てに関する情報を発信する「下京子育て応援情報」ウェブサイトを活用し、より一層、支援の充実を図ります。	<b>1 下京のはぐくみ文化発信事業</b> 下京区の子育てに関する身近な情報を「子どもねっと下京」「たんぼぼ通信」ウェブサイト「下京子育て応援情報」で発信している。ウェブサイトのユーザー数が約5,500人以上となり、最新の情報をより多くの家庭に情報発信している。ウェブサイトでは、「トビックス」として、イベントレポートや、寒い冬のおうちでのあそび、児童館でできることなど、時期に応じた役に立つ旬の情報を提供した。 <b>2 妊婦相談事業</b> 母子健康手帳交付時に全員の方に保健師が面接を実施し、妊婦の不安や育児環境等に対する相談を受け適切な支援を行っている。 実績 妊婦相談数 714件 <b>3 こんにははぐくみママ訪問</b> 初妊婦等のご家庭に対し、妊娠中に保健師または助産師等が訪問を行い、妊娠・出産・育児に関する相談に対し、情報提供を行っている。 実績 訪問数 256件 <b>4 こんには赤ちゃん訪問</b> 生後4箇月までの乳児のいる家庭に訪問し、育児や産後の生活の相談を受け適切な支援を行っている。 実績 訪問数 587件 <b>5 下京赤ちゃんねっと事業</b> 主任児童委員等が赤ちゃんが生まれた家庭に訪問し、孤立防止のために地域の子育てを支援する関係機関につないでいる。 実績 73件 主催 下京赤ちゃんねっと実行委員会 <b>6 「下京たんぼぼ広場」の実施</b> 乳幼児を養育中の親のふれあいと交流の場を提供している。 日時 ①6月13日（水）②10月24日（水）いずれも10時30分から正午 場所 元安寧小学校 参加者 ①148人（大人72人、子ども76人）②188人（大人92人、子ども96人） 主催 下京たんぼぼ広場実行委員会 <b>7 下京子育て支援講演会の実施</b> 下京区子ども家庭支援ネットワーク協議会研修会を実施 ①8月27日（月）「関係機関との連携について」 43人 ②11月2日（金）「子どもの貧困と地域の居場所づくりについて」 57人 ③11月8日（木）「地域の子育て家庭を取り巻く現状と課題について」 35人 ④11月29日（木）「就学以降の課題と発達支援について」 37人 <b>8 親子で楽しむ健康教室（出前教室）</b> 児童館や子育てサロンに専門職が講師として出向き、講話や相談に対応した。遊びを通して親同志の交流や地域とのつながりが深められ、講師にも気軽に相談できる場となっている。 ①4月25日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 7組 ②5月23日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 15組 ③7月3日（火）下京ひかり児童館 講話・個別相談 7組 ④7月4日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 6組 ⑤7月4日（水）「プーさん」講話・個別相談 12組 ⑥8月1日（水）修徳児童館 個別相談 15組 ⑦8月24日（金）「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 15組 ⑧9月12日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 9組 ⑨9月14日（金）「開智てんとうむし」個別相談 7組 ⑩10月5日（金）「ユニー」講話・個別相談 6組 ⑪11月7日（水）「プーさん」講話・個別相談 8組 ⑫11月21日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 11組 ⑬1月18日（金）「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 27組 ⑭1月23日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 9組 ⑮2月13日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 4組 ⑯2月22日（金）「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 16組 ⑰3月6日（水）「きしゃぼっぽ」個別相談 5組 ⑱3月6日（水）「プーさん」講話・個別相談 16組 <b>9 ことHugmiプロジェクト（地域子育て支援拠点事業）への参加</b> 発達が気になる親子サポートする「ちょこちゃん」「ひかりちょこちゃん」への職員派遣 8回 <b>10 次世代はぐくみプロジェクト事業</b> 妊娠・出産・赤ちゃんのいる暮らしなどの講話を行い「思春期における次世代を育む意識づくり」に繋いでいる。 3月8日（金）下京中学校3年生 思春期講座 195人 <b>11 防煙セミナー</b> たばこによる健康被害に関する知識の普及啓発を推進し、喫煙防止を図るため、保健師等による講話を行った。 （協力機関：NPO法人京都禁煙推進研究会、京都府医師会） ①10月25日（木）下京中学校1年生 167人 ②11月30日（水）七条中学校1年生 136人	「ともにいのちをはぐくみ、子どもの健やかな成長をともに促し、すべての人が自分らしくいきいきと生きていくことのできる地域社会」を目指す。 <b>1 「下京赤ちゃんねっと」事業の充実</b> 妊娠から地域交流を促進し、子育ての孤立化や不安感の軽減を図っていく。 <b>2 ウェブサイト「子育て応援情報」の充実</b> 幅広い分野の情報を発信しているようウェブサイトの内容について充実を図る。 <b>3 地域の子育て支援力向上を図る取組の充実</b> 子育て支援機関だけでなく子育て支援に積極的に取り組んでいる企業等と連携し、プロジェクト会議を創設する。 <b>4 はぐくみ文化の醸成</b> 子育て世代だけでなく、これから子育てを担っていく思春期世代を含め、いのちの大切さ、生きる喜び等を伝えていく。	子どもはぐくみ室

基本方針	30年度重点取組				
	重点取組名	目標 ※記載変更不可!	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	
基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育む	「健康長寿のまち・下京」の実現	あらゆる世代の区民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組む機運を醸成し、地域や関係機関との連携の下、地域包括ケアシステムを構築し、専門職によるアウトリーチ型支援を推進することにより、地域の顔の見える関係づくりや絆を深め、「地域共生社会(※)」の実現を目指します。 30年度は、広く区民の健康づくりへの関心を高めるため、29年度からビンゴゲーム形式で実施した「下京健康ビンゴ」を継続・充実して実施するなど、機運醸成や啓発の取組を行います。また、区民の自主的な健康づくり活動の輪が広がるよう、健康づくりに取り組む団体への支援を行うとともに、健康教室の実施などにより、地域の健康課題を区民や関係機関とも共有し、課題解決に向け、支援の充実を図ります。	<b>重点取組のテーマ 「赤ちゃんからお年よりまで、障害のある人もない人も笑顔あふれる下京区に」</b> <b>1 スマイルUP下京 ～あなたの笑顔から健康長寿～ 【新規】</b> 笑顔の健康効果を周知し、区民の健康づくりを促すとともに笑顔が広がることで地域の絆を深め、健康長寿のまちづくりを進めている。 平成30年度は区民の笑顔の写真を募集し、笑顔の健康効果について考える契機とした。応募写真を用いて健康効果を啓発する動画やポスター等を作成し、情報発信していく。 募集期間 平成30年11月1日(木)～平成31年1月11日(金) 応募数 516枚 <b>2 下京しあわせUPフォーラム 【新規】</b> 講演会や自主活動グループの作品展や交流会等の3部からなる事業を開催した。 ①「笑いヨガ」 日時 12月7日(金) 第1回10時30分～12時 第2回13時30分～15時 参加者 113人 ②「ヒューマンライブラリー」 日時 12月10日(月) 14時～16時 参加者 51人 ③「いつまでも笑顔でおいしく食べるために」・お口の体操実習 日時 12月19日(水) 13時30分～15時 参加者 23人 ④作品展来場者 193人 喫茶交流コーナー来場者 183人 12月7日、10日の2日間実施 <b>3 下京健康ビンゴ</b> 広く健康づくりへの関心を醸成し、区民が主体的な健康づくりを進めるため、ビンゴゲーム形式により事業紹介を行った。 カード配布期間 8月20日(月)～12月28日(金) カード配布数 4,284枚 景品交換人数 107人 共催：下京区社会福祉協議会、下京区シルバークラブ連合会、下京区体育振興会連合会、下京区地域女性連合会、下京献血推進実行委員会、下京青少年活動センター、下京保健協議会連合会、下京民生児童委員会 他協力機関多数 <b>4 地域における健康づくり事業</b> 1) 出張型健康教室 ①健康教室 学区社会福祉協議会、児童館、小学校のPTA、中学校、長寿すこやかセンター等区内のさまざまな団体に出張型の健康教室開催を呼びかけ、下京区の健康課題や特性を踏まえた保健指導、栄養、歯と口の健康、運動、休養、感染症、子育て等の幅広い健康教室を開催した。 (計14回・488人参加) ・6月15日(金) 講話「メタボリックシンドローム予防とロコモティブシンドローム予防」とトレーニング(対象者：長寿すこやかセンター利用者) 参加者68人 ・7月26日(木) 「自分の健康について考えよう」骨密度測定、血管年齢測定、乳がん自己触診や各種啓発(於：下京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会) 参加者23人 ・8月20日(月) 講話「高齢者の身体とこころ」(於：地域支え合い活動入門講座講話) 参加者17人 ・9月19日(水) 講話「大腸がんの予防」「お口の健康」(対象者：保健協議会委員) 参加者35人 ・9月26日(水) 講話「骨密度」と骨密度測定(対象者：七条すこやか学級参加高齢者) 参加者64人 ・9月27日(木) 講話「認知症について」(於：下京東部地域圏地域ケア会議) 参加者54人 ・10月15日(月)、24日(水)、11月1日(木) 講話「生涯を通じた歯の健康づくり」(対象者：七条すこやか学級参加高齢者) 参加者83人 ・10月18日(木) 講話「健康づくりサポーター・下京区の取組について」(於：国保運動ひろば) 参加者8人 ・10月19日(金) 講話「災害時の保健福祉センターの活動・笑顔のまちづくりについて」(於：下京中部地域圏地域ケア会議) 参加者30人 ・11月2日(金) 講話「下京区の健康課題や取組について」(対象者：チャレンジ体験参加中学生) 参加者3人 ・11月12日(月) 「メタボクス体操と公園遊具の使い方」(対象者：有隣学区民) 参加者14人 ・12月26日(水) 「歯と口の健康を見直そう」(対象者：下京区民) 参加者89人 ・3月22日(金) 「メタボクス体操と公園遊具の使い方」(対象者：下京区民、於：梅小路公園) 参加者32人 ・3月29日(金) 「がん予防について」(対象者：下京歩歩塾生) 参加者 24人 ②保健指導や子育て相談等 地域関係諸団体主催のイベントに向いて血管年齢測定、骨密度測定結果に基づいた保健指導や子育て相談等を実施し、幅広い年代層が主体的に健康づくりに取り組む機運を醸成した。 (計7回・1,092人参加) <b>【実施例】</b> 下京・京都駅前サマーフェスタ、下京区ふれ愛ひろば、下京・みなみ健康まつり、しもせいフェスタ、下京つながりフェスタ 2) 区役所内実施型健康教室 ①生活習慣病予防教室 ～脳血管疾患や骨粗しょう症を予防しよう～ ・日時 10月12日(金) 13時～16時 内容 血管年齢測定、講話：脳血管疾患とその予防・元気の血管を保つために 参加者 26人 ・日時 10月26日(金) 13～16時 内容 骨密度測定、講話：骨粗しょう症とその予防 参加者 26人 ②乳がん検診来所者へ「乳がんモデル」を用いた自己検診法の指導など、健康づくりに関心を高める取組を実施した。(計6回・180人参加) ③食育セミナー 栄養バランスのよい献立や食事の適量を知る等のテーマで講話、調理実習、試食を伴う教室を実施した。(計7回・101人参加) ④健康づくりサポーター(しもけんズ) ◇養成講座 日時 8月24日(金) 13時30分～15時30分 内容 下京区の概要と健康課題、サポーターに関する講話・紹介 参加者 5人 ◇健康づくりサポーター(しもけんズ) スキルアップ教室 ・日時 7月9日(月) 10時30分～11時40分 内容 有隣公園 健康遊具活用法(一般参加者への受入有) 参加者 サポーター8人、一般参加者11人 ・日時 11月30日(金) 10時～11時 内容 京都市版お口の体操の習得 参加者 2人 ・日時 12月21日(金) 14時～15時35分 内容 メタボクス体操の振り返り、区民へ普及啓発するためのコツの再確認 参加者 参加者7人 ・日時 3月20日(水) 10時30分～11時30分 内容 梅小路公園 健康遊具活用法(一般参加者への受入有) 参加者 サポーター6人、一般参加者26人 <b>5 健康づくりに取り組む団体等の支援</b> 1) 健康づくりサポーター(しもけんズ)の活動支援 しもけんズの活動方針に関する相談対応、スキルアップ教室等を通じた正しい知識や情報の提供(年1回開催)、健康づくりサポーターのPR、イベント等での活動機会の提供、他の健康づくりグループとの交流支援を行った。 <b>【参考】</b> サポーター登録者17人(31年3月末現在) 2) 下京歩歩(ぼっぼ)塾 IT歩教計をつけたウォーキングで歩くことを習慣づけ、地域ぐるみの健康づくり活動を行い、区民の健康増進を図る事業であり、平成28年度からは塾生による自主運営を行っている。区役所は、活動方針の相談対応、下京歩歩塾と関係機関の連絡・調整等の支援を行っている。 ヘルスピーア21によるミニ講習会や、保健福祉センター各課より健康に関する講師を3回派遣した。 <b>【参考】</b> 塾生数：52人(31年3月末現在) <b>6 高齢者便利帳シニアお出かけマップの普及</b> 地域包括支援センターが中心となり作成したマップを、区民の皆さんに利用していただけるよう普及に努めた。平成31年3月には、地域ケア会議等での意見を踏まえ、情報を更新したVer.4が発行された(1,000冊)。	地域で顔の見える関係づくりや絆を深め、「地域共生社会」の実現を目指す。 1 「あなたの「笑顔」から健康長寿」をテーマに据え、「笑顔の健康効果」の講演とお笑い芸人による「お笑い文化」に接することで、区民一人ひとりが「笑顔」の健康効果を認識し、主体的に健康づくりに取り組む機運を醸成する。 2 老舗の料理人等を講師に招き、「京の食文化」の奥深さを学ぶことにより、健康で豊かな生活を実現するとともに、次世代に継承する。 3 地域の健康課題に即したテーマで、幅広い年齢層を対象とした講演会をはじめ、出張型教室を実施する。	健康長寿推進課



基本方針	30年度重点取組				
	重点取組名	目標 ※記載変更不可!	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	安心安全なまちづくり	各学区の自主的な安心・安全に関するまちづくり活動や防災訓練への支援を行うとともに、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」が策定した「下京区運動プログラム(具体的な取組の指針)」(平成28～32年)に基づき、「誰もが安心して過ごせる、やさしさあふれるおもてなしのまち下京区」を目指し、様々な啓発活動を行うことにより、安心安全への機運の向上を図ります。 30年度は、下京区推進協議会に、犯罪の被害者になりやすい高齢者と関係の深い団体(下京区社会福祉協議会、下京民生児童委員会、下京区シルバークラブ連合会)に、委員として参画していただき、共に、犯罪防止・抑止に取り組めます。 また、31年3月14日の「下京区防犯の日」は、下京区140周年記念事業のキックオフイベントとタイアップして、更なる「オール下京」で「犯罪のないまち下京区」を目指します。	【下京区推進協議会の主な取組】 1 下京区推進協議会 安心安全の取組や防犯カメラ設置促進補助事業への助言などを委員からいただき、その御意見をもちに様々な事業の実施や啓発グッズの作成等を行い、犯罪防止に取り組んでいる。 開催日 8月22日(水) 2 安心安全強化活動 (1) 2018秋の陣 安心安全パレード(区役所から京都駅前)、安心安全宣言や平安ふれあいコンサートなどを開催した。 日時 10月18日(木) 11時～12時10分 参加者 200人 (2) 平成30年末防火パレード(下京消防団発足70周年記念パレード) 下京消防団発足70周年の節目を記念するとともに、年末防火運動中における火災予防の啓発パレードを開催した。 日時 12月19日(水) 10時～11時30分 参加者 200人 (3) 2019春の陣 下京区140周年記念セレモニー・啓発パレード 今回は、下京区誕生140周年を迎える日であることから、下京区がいつまでも安心安全なまちであり続けることを願って、テレビ朝日の人気番組「快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー」で主演の結木滉星さん(一日警察署長)の特別参加の下、記念セレモニー及び啓発パレード、京都タワーのライトアップを実施した。 日時 3月14日(木) 11時～13時 参加者 セレモニー400人 パレード250人 3 「下京区防犯の日(毎月14日)」のライトアップ等 京都タワーや区役所などを防犯カラーのスカイプルーにライトアップするとともに、協力していただける企業や行政機関などに横断幕や懸垂幕を掲示していただき、機運向上を図った。 4 その他 区内各箇所下京警察署とともに区民、企業などの協力を得て、防犯の啓発活動を定期的実施した。	下京区運動プログラムに基づき「安心安全な下京区」を目指して取り組んで行く。	地域力推進室 地域防災担当
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	安心安全なまちづくり	更に、新たな取組として、学区の防災リーダーを対象に、避難所の開設・運営をテーマにした研修を実施することにより、防災力アップに取り組めます。	【下京区推進協議会以外の主な取組】 1 下京区安心安全ネット継続応援事業 下京区の各地域で、安心・安全なまちづくり活動に必要な事業費用に対する補助を行い、地域の安心・安全なまちづくりを支援した。 補助金交付学区(5学区): 格致、成徳、有隣、梅逕、七条第三 学区での具体的な取組: 特殊詐欺対策として録音機器の購入、災害時など非常時に活用する災害用緊急防災セットの購入、防災まちづくりマップの作成 2 各学区の防災訓練への支援 各学区では、大規模災害に備え初期初動や初期消火訓練など様々な訓練が実施されている。 5月15日に改訂された、「京都市水害ハザードマップ」の利用説明や災害発生時に対応ができるよう避難所の資器材運用の支援を行った。 支援を行った学区(5学区): 郁文、豊園、格致、七条第三、永松 3 リーダーズ研修 30年度は、7月豪雨の教訓を受け、避難所の開設・運用について研修を行った。また、京都市消防学校の水害対応訓練施設にて、水害時における対応能力向上訓練を実施した。	地域の安心・安全なまちづくりを支援して、区民の防災意識の向上を図っていく。	地域力推進室 地域防災担当
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	不良な生活環境の解消	いわゆる「ごみ屋敷」などの地域課題の解消を進めるため、地域あんしん支援員や、地域、関係機関と連携しながら、対象者に寄り添った支援を行うことを基本に、不良な生活環境の解消を図ります。	1 「不良な生活環境を解消するための支援および措置に関する下京区役所対策事務局」会議の開催 30年度を通して、3件(29年度からの継続2件、30年度新規1件)について対応方針を定め、取組を進めている。 開催日 ①7月19日(木) ②12月27日(木) 2 支援内容 下京区役所関係各課、区社会福祉協議会等が連携して寄り添い・清掃等の支援を行い、30年度を通して、3件中1件は不良な生活環境を解消することが出来、1件については見守り・清掃支援とともに消防署等の協力を得て、生活環境の改善支援のためのネットワーク拡大を図ることができた。 面談はできるが、清掃などの具体的支援を拒む方に対しては、地域、関係機関と連携しアプローチする中で人間関係は築けつつあり、今後の清掃支援の展開についても解消に向け、寄り添い支援を図りながら、改善指導を継続している。	不良な生活環境を解消するための支援等を円滑に進めるため、地域、関係機関及び区関係課と連携を密にしながら、寄り添い支援及び清掃支援を行う。 また、生活環境が改善された以降も、再発防止の観点で、継続的な支援を地域、関係機関で行う。	地域力推進室 保健福祉センター
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	「下京こころのふれあいネットワーク」(地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成)事業の推進 ※重点取組以外の取組		1 「下京こころのふれあいネットワーク」(地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成)事業の推進 (1) ヒューマンライブラリー 日時 12月10日(月)14時～16時 場所 下京区役所4階会議室 内容 こころの病をお持ちの方が「本」になり、自らの人生や経験を「読者(参加者)」へ語り、こころの病とはどう いつたものか、障害のある人も、ない人も皆が暮らしやすいまちにするにはどうしたらよいか、ともに考え 語り合う。 当事者 10人 参加者 51人(うち、民生児童委員・老人福祉委員 34人含む) (2) 地域懇談会(地域に出向いて実施する学習会) ①日時 10月25日(木)11時～11時30分 場所 下京区役所4階会議室 内容 ゲートキーパーについて 参加者 30人(下京歩歩塾) ②日時 1月16日(水)11時～12時 場所 京都市修徳児童館 内容 親と子のこころの栄養講座① 参加者 17人(乳幼児の保護者) ③日時 平成31年2月4日(月)13時30分～15時 場所 京都市下京老人福祉センター 内容 高齢者のメンタルヘルス 参加者 58名(下京老人福祉センター世話人、利用者) ④日時 3月19日(土)11時～12時 場所 京都市修徳児童館 内容 親と子のこころの栄養講座② 参加者 21人(修徳児童館に在籍する学齢期の児童の保護者) (3) 作品展・活動紹介 期間 12月7日(金)、12月10日(月) 場所 下京区役所4階会議室 内容 ネットワーク活動等を知ってもらうための作品・パネル展示、活動紹介 参加者 193人 (4) 「下京こころ(ま)とだより」の発行(ネットワーク活動等を掲載) 発行時期 11月(第13号)、3月(第14号) 発行部数 各400部 2 地域共生社会の推進 障害の有無や年代等に関わらず、ともに映画を楽しみ、ユニバーサルデザインや地域共生社会についての理解を深める。 下京区140周年記念事業～地域共生社会を目指して～ こころのバリアフリー講座 日時 2月22日(金)13:30～16:00 場所 キャンパスプラザ京都 第1講義室 内容 ミニ講演会「地域共生社会について」 ユニバーサル上映会 映画「最強のふたり」 (ヒアリンググループ設置) 参加者 175人	障害の有無や年代や分野を超えて住民がつながる地域共生社会を目指し、誰もが参画できる事業の推進に努める。  30年度の実績を踏まえ、こころの病や障害について理解を深め、こころの健康への区民の関心を高めるとともに、地域で生活する精神に障害のある区民への支援について関心を高められるようネットワーク参画団体と協力しながら活動を継続する。  ・講演会(年1回) ・地域懇談会(年2～3回) 学区に出向いて、精神保健福祉に係る普及啓発・意見交流等 ・パネル・作品展 ネットワークに参画している医療関係機関、福祉施設・就労支援施設、保健福祉センター、社会福祉協議会などの活動紹介や作品、写真の展示を行う。 ・ネットワーク通信の発行 ネットワーク活動の紹介	障害保健福祉課
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	権利擁護等高齢者福祉ネットワークの推進 ※重点取組以外の取組		高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、高齢サポート(地域包括支援センター)が中心となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が「区民が主役のまちづくりサポート事業補助金(以下、「サポート事業」という。)」を活用して、以下の事業を実施した。区役所も同ネットワークに参画し、共に取り組んだ。(実施主体:「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」) (1) 高齢者なんでも相談会(区役所内で開催) 日時 11月17日(土)10時～16時 参加者 32組 握力等の測定会(作業療法士会協力) 参加者 44人 (2) 権利擁護講演会(区役所内で開催) 日時 11月17日(土)13時30分～14時30分 参加者 60人 (3) 出張相談会 日時 ①7月31日(火)13時30分～15時30分 ②2月16日(土)13時～16時 場所 ①下京総合福祉センター②七条中学校 参加者 ①12組 ②16組 (4) 下京区事業者連絡会議で講演「多職種連携の大切さ」について 日時 9月18日(火) 場所 区役所会議室 参加者 70人 上記のほか、高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、隔月、定期的に地域包括支援センター及び関係機関と協議を行い、連携した。	講演会及び相談会については、毎回、参加者から「よく話を聞いてもらった」「解決の糸口が見出せた」など、好評をいただいている。また、事業を通じ、ネットワークを構成する関係機関や、司法書士、弁護士、税理士など様々な専門職の参加者間の交流が深まることによって、高齢者にかかる支援の厚みが増すほか、円滑に連携できるようになっている。 高齢者の権利擁護支援の充実に向け、関係機関と連携し、効果的な取組を進めていく。併せて、脳トレや骨密度測定を行うなど、健康づくり、健康長寿に即した取組を行い、総合的な高齢者の福祉を進める。	健康長寿推進課

基本方針	30年度重点取組				
	重点取組名	目標 ※記載変更不可!	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)					
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	明治150年記念事業の実施(ふれあい事業)	地域の歴史を学んで、過去の偉業の足跡を振り返り、楽しく健康になることを目的に、明治期に建築された区内の近代建築物を巡るまち歩きイベントを実施します。	<b>明治期の建築物等を巡る下京のまち歩き(明治150年記念・全区リレー事業)</b> 下京区140周年記念事業として、下京区内に残る明治期に建てられた建築物、古い町並みや京町家などを巡りながら「むかし」と「いま」を楽しむまち歩きを開催した。コースにポイントを設け、施設内の見学(非公開施設を含む)、もてなしグッズのプレゼントなどを盛り込んだ。 日時 12月8日(土)9時~14時30分 全行程 約5km 参加者 83人	明治150年記念・全区リレー事業として、平成30年度限りの開催。	地域力推進室 事業担当
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	まちづくり委員会の設立支援	29年度から3年間かけて防災対策に取り組んでいる、有隣学区及び菊浜学区のまちづくり委員会への支援を継続して行います。 30年度は、SDGs(持続可能な開発目標)や、少子高齢化や大災害に備えるレジリエンスの視点を踏まえ、顔の見える関係づくりを促進し、地域の課題を地域で解決するため、新たな学区におけるまちづくり委員会の設立を支援します。	開智学区におけるまちづくり委員会の設立に向けて、自治連合会との協議を進めてきた。これまで、人口減少社会の到来を見据えた持続可能な町内会の在り方や違法民泊事業者の調査等、解決を目指すべき地域課題の選定について議論を深めた。	現在の自治連合会執行部だけでなく、次世代を担う若い世代や学区内で活動する事業者も含めたワークショップの開催も視野に入れながら、まちづくり委員会の構成メンバーや優先して取り組むべき地域課題の決定を行う。また、同委員会と自治連合会との連携についても、議論を深めていく。	地域力推進室 広聴担当
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	優良な民泊の普及支援	行政区で最も旅館業法に基づく許可施設数が多い下京区(※)において、29年度に引き続き、地域、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動」を実施し、啓発を行うとともに、事業者と地元との協定締結の促進や、優良な事例紹介などを通じて、安心して地域と調和した民泊施設の普及を図ります。	<b>1 訪日外国人マナー向上啓発活動(民泊パトロール)</b> 30年度も昨年度に引き続き、菊浜学区及び梅選学区において、地域、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動」を実施した。 啓発活動:①5月29日(火)菊浜学区、②10月20日(土)梅選学区 また、別途、府民協働防犯ステーション(下京警察署管轄)を中心として、パトロールを実施した。 実施した学区:有隣、安寧、豊園、大内、七条第三、光徳・淳風、永松、開智、西大路・七条(実施順) <b>2「宿泊施設」をテーマにした交流会の実施</b> (下京アフターワーズvol.6「stay in 下京」) 宿泊者との交流や地域とのつながりを重視した、個性的なサービスを提供し、注目を集めている区内の宿泊施設の担い手2名をゲストに迎え、地域と調和した良質な宿泊施設について、考える機会とした。 日時 9月5日(水)19時~21時 場所 和泉屋旅館 ゲスト 和泉屋旅館 木村英一氏 平旅館ひばり 鎌塚慶一郎氏 参加者 30人 <b>3 その他</b> 近隣の宿泊施設に関する相談があった地域住民に対し、事業者との協定書の締結や課題解決に向けたアドバイスを行った。また、観光MICE推進室が実施する「京都らしい宿泊施設表彰」と連携し、地域と調和した宿泊施設の事例紹介を行った。	<b>1 訪日外国人マナー向上啓発活動(民泊パトロール)</b> 令和元年度も引き続き、地域、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動」を実施し、観光客と地域との調和を図る。 <b>3 その他</b> 区役所への民泊の相談については、先進事例等を参考に、地域と宿泊施設の調和に向けたアドバイス等を実施する。また、引き続き実施される「京都らしい宿泊施設表彰」の「地域と調和し、貢献する宿泊施設」の対象となる施設を、地域の協力を得ながら掘り起こしを行い、特に、防災まちづくりに取り組む地域等では、災害時の協力協定の締結等を宿泊施設に働きかけ、地域と宿泊施設の一層の調和、協力を図る。	地域力推進室 振興担当、 企画担当
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	京都駅西部エリアの活性化	京都駅から西に広がる梅小路公園を中心とする京都駅西部エリアは、京都水族館や京都鉄道博物館による年間を通しての賑わいに加え、31年春にはJR山陰線(嵯峨野線)の京都~丹波口間の新駅が、また、32年度中に市中央市場「賑わいゾーン」の開業が予定されており、まちの様子が大きく変わろうとしています。 30年度も引き続き、「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」や「京都駅西部エリアまちづくり協議会」と連携し、区民と企業との協働によるまちづくりを進め、更なる賑わいの創出と回遊性の向上を目指します。	<b>1「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」との連携</b> 京都駅から梅小路公園周辺の企業・団体等で構成するプロジェクトにアドバイザーとして参加。地域からは安寧、梅選、大内学区の自治連合会が特別会員として参加している。(会員数48団体) 区役所は、広報誌「梅小路PUN」、イベントチラシ等の配布、ポスターの掲出などの広報支援、合同清掃活動等へ参加した。 下京区が140周年を迎えるに当たり、協賛事業の実施に向けた協力を要請した結果、プロジェクトが主催するイベントが下京区140周年記念事業と位置付けられることとなった。 また、同プロジェクトの活動が更に推進できるよう、プロジェクトの事務局と区役所が不定期ながらも意見交換会を行った。 【プロジェクト主催の主なイベント】 ○京都・梅小路七夕あそび(8月3日(金)~12日(日)) 「京の七夕」と連携し、梅小路公園で「あそび」をテーマとした七夕イベント。イルミネーションや行灯によるあかり、キッチンカーやミニ緑日、公園内施設の夜間延長営業、オリジナル行灯作りなど、夏の夜に「あかり」と「あそび」で思い出づくりを演出。 参加者 約14,600人 ○京都・梅小路フォトコンテスト作品募集(8月3日(金)~11月30日(金)) 「京都・梅小路エリアを楽しむ」をテーマに作品を募集。郵送、メール、コンテスト用Instagramで受付。 作品数 889作品 ○梅小路キッズアートキャンパス!!(11月3日(土・祝)) プロジェクト会員の企業のほか、様々な企業・団体が参加し、ワークショップを出展。子どもたちに多様な「学び」を体験する機会を提供。 ・「えいごコンサート」 エリック・ジェイコブセン氏 ・「ゴースト暗算」 岩波邦明氏 参加者 約2,000人 ○京都・冬の光宴2019(2月1日(金)~14日(水)) 梅小路公園の大宮入口から梅小路京都駅西口の開業予定地までイルミネーションのあかりでライトアップ。 参加者 約21,000人 ○太陽と星空のサーカス in 京都梅小路公園(3月16日(土)・17日(日)) 蚤の市やワークショップ、グルメ、無料で楽しめる映画や音楽ライブを開催 参加者 約55,000名 <b>2「京都駅西部エリアまちづくり協議会」との連携</b> 「京都駅西部エリア活性化将来構想」に掲げる将来ビジョン(多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち)の実現を目指し、企業、東・西本願寺、龍谷大学、大内自治連合会、七条自治連合会、商店街等で構成する協議会。区長は副代表。 「京都駅西部エリア全体の活性化に資する活動」を支援(補助金交付)するため、ホームページ「京都えきにし」において公募。支援が適当であると認められる活動の申請団体、4団体へ補助金を交付。補助金交付事業の広報を支援した。 【30年度補助金交付団体】 ○京都・梅小路みんながつながるプロジェクト(イベントの実施、エリアマップの制作、パナーフットの整備等) ○梅小路公園・冬芝を育てる会(冬芝の播種、パークヨガ大会の開催等) ○龍谷大学(エリア発見マガジン「京都えきにし」の発行等) ○梅小路活性化委員会(京都えきにし商店街スタンプラリー2018)	「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」事務局及び、「京都駅西部エリアまちづくり協議会」事務局との連携を一層深め、区民と企業共同のまちづくりを更に推進する。	地域力推進室 事業担当
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	京都駅東部エリアのまちづくりの推進	35年度の市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう支援します。 30年度は、地域の方や学識経験者等で構成する検討委員会が設置され、京都駅東部エリアの将来構想が策定される予定であり、区役所も連携・協力して、地域の活性化を支援します。	<b>1「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」との連携</b> 地域、京都市立芸術大学、行政、学識が参画する企画推進会議及び世話人会に区役所も出席し、情報共有に努めた。 ・企画推進会議 10月10日(水)、1月31日(木) ・世話人会 10月24日(水)、2月14日(木) <b>2「京都駅東部エリア活性化将来構想検討委員会」との連携</b> 地域、大学、学識等により構成される京都駅東部エリア活性化将来構想検討委員会に、事務局である総合企画局と連携し情報共有に努めるとともに、30年度内に答申、策定予定の将来構想案の市民意見募集について、区主催の会議等で周知し広報支援を行った。 ・検討委員会 第1回9月8日(土)、第2回11月5日(月)、第3回12月19日(水)、第4回3月20日(木) <b>3 芸大移転機運醸成</b> ・下京区ふれ愛ひろばにおいて、学生のブース出展やステージ出演等を依頼するとともに、市立芸大関連ブースを設けた。 ・市民しんぶん下京区版「下京のひびき」において、芸大に関連する歴史や話題を紹介するコラム「芸大を知ろう!」を、平成31年1月15日号からスタートした(掲載頻度は3箇月に1回予定)。	「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」と「京都駅東部エリア活性化将来構想策定委員会」には対象エリアに若干の相違があり、双方の事務局(総合企画局、都市計画局)と連携を図り、芸大を核とした崇仁エリアのまちづくりが円滑に進むよう、地域(下京区小学校区5学区)だけでなく、下京区全体に市立芸大移転の機運が高まるよう、プロジェクト推進室が実施する京都駅東部エリアで行う事業についても、区役所として支援、連携を行い、地域の活性化を目指す。	地域力推進室 事業担当



基本方針	30年度重点取組				
	重点取組名	目標 ※記載変更不可!	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	「下京・京都駅前サマーフェスタ2018」の支援	企業や歴史資源の集積する下京区ならではの取組として、まちの賑わいづくりに資することを目的に、京都駅ビル開発株式会社、西本願寺、東本願寺、地域と連携し、夏祭りを開催します。	「下京・京都駅前サマーフェスタ実行委員会」のメンバーとして参加。事務局は京都駅ビル開発株式会社。他に、東本願寺、西本願寺が実行委員会メンバー。広報を支援。 日時 8月25日(土) 10時~17時 場所 京都駅ビル駅前広場、東本願寺、西本願寺、梅小路公園 イベント①7月26日(木)~27日(金)本願寺納涼盆踊り ②8月24日(金)御影堂門・緑地帯噴水ライトアップ 内容 京都駅ビル: ステージ(オープニングセレモニー、ステージ発表、KBSラジオ公開生放送) 東本願寺: 京都 食とアートのマーケットin東本願寺、ツリークライミング 西本願寺: 重要文化財「太鼓楼」の特別公開(外観)、切り絵・金継ぎ・彫金のワークショップ 梅小路公園: ミニSL運転、電車のおもちゃすくい、カメラ検定、ゲーム、マルシェ、わくわくステージ 参加者 約32,700人(うち、イベント①約12,000人②約700人)	広報の支援以外にもイベント内容等の工夫が図れるよう、他の実行委員会メンバーとの連携を図っていく。	地域力推進室 事業担当
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	地域の魅力を高めるまちづくりの支援	地元学区、事業者及び庁内関係部署などと連携を密にしながら、空き家、防災、防犯などの課題を解決し、地域の魅力を高めるまちづくり活動への支援を行います。	<b>1 菊浜学区の取組(菊浜まちづくり推進委員会)</b> 2年目となる密集市街地・細街路対策の「防災まちづくり」(都市計画局所管)の取組は、計画作成に向けたまちづくりビジョンの意見交換や、区社協等の関係機関とともに高齢者等の災害弱者の視点も踏まえた防災福祉まち歩きを実施した。併せて、災害時に速やかな避難誘導ができるよう、防災訓練時に集合場所の確認を行い、集合場所の表示板を作成したサポート事業を活用。また、五條会館については、保存活用に向けて関係機関と情報共有を行うとともに、事業者へ働きかけ等を行ったこともあり、新たな所有者が取得し今後保存活用に向けて取り組むことになった。 <b>2 有隣学区の取組(有隣まちづくり委員会)</b> 3年目となる密集市街地・細街路対策の「防災まちづくり」(都市計画局所管)の総括として防災まちづくり計画の作成に向けた意見交換等を実施し、防災まちづくり計画を作成した。また、学区内で増加する宿泊施設に住民が対応する方法や、宿泊施設に関する情報をまとめた学区オリジナルの「民泊対策マニュアル」を作成した。 <b>3 松原通界隈活性化活動プロジェクト</b> 昭和30年まで祇園祭の山鉦が巡行していた松原通にかつての賑わいを取り戻すため、平成24年度に洛央小学校区の各学区が連携して「松原通界隈活性化活動プロジェクト」を結成。平成29年度までサポート事業を活用していたが、平成30年度からは自主財源に移行し、主に次の取組を行った。 【主な取組】 ○「松原お迎え提灯灯し」の実施 洛央小学校と協力してお迎え提灯を設置し、山鉦巡行前夜に松原通を通る「日和神楽」を地域でお迎えすることで、かつての松原通のにぎわいを再現した。 日時 7月16日(月) ○「松原通の駅」の開催 大学や事業者、商店街と連携し、松原通の魅力を発信する「松原通の駅」を開催。今回から新たに松原通全体をブランディングする試みとして、松をモチーフとした基本デザインを制作した。 日時 11月17日(土) ○「『源氏物語』夕顔巻の地理をたどる」の開催 五条(現在の松原通)界隈が舞台の『源氏物語』夕顔の巻に登場する場所が、現在のどのあたりかといったことをテーマに講演会を開催した。 日時 1月25日(金)	<b>1 菊浜学区の取組(菊浜まちづくり推進委員会)</b> 3年目となる防災まちづくりでは、計画の作成と並行して具体的な安全対策を進めるとともに、地域に急増する宿泊施設が地域と調和した施設となるよう、災害時の協定の締結等の支援を行う。また、学区内の歴史的な建築物の保存活用に向け、事業者等との連携を通じ、地域と調和し、地域の活性化に寄与する施設となるよう支援を行う。 <b>2 有隣学区の取組(有隣まちづくり委員会)</b> 30年度に作成した防災まちづくり計画の実現に向け、具体的な安全対策等の取組を進めるための支援を行うとともに、避難所運営等についての取組を進め、マンションや宿泊施設等との災害時の協定に締結等に向け、支援を行う。 <b>3 松原通界隈活性化活動プロジェクト</b> 「松原通の駅」の開催などについて、関係機関等と連携し、必要な支援を行っていく。	地域力推進室 広聴担当, 振興担当

基本方針		30年度重点取組			
		重点取組名	目標 ※記載変更不可!	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)
テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)					
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	下京区140周年記念事業の実施	下京区は明治12(1879)年3月14日に誕生し、平成31(2019)年に140周年を迎えます。この記念すべき年を契機として、多くの区民の皆様と共に地域が抱える課題を乗り越え、町衆の良き伝統や地域コミュニティを次世代の子どもたちに引き継ぎ、より一層魅力あふれる下京区を実現するため、下京区140周年記念事業実行委員会の下、記念事業を実施します。30年度は、あらゆる機会をとらえて機運の向上を図るとともに、31年3月14日、キックオフイベントを実施します。	<b>1 シンボルマーク・キャッチコピーの作成</b> 周年事業を企画実施するにあたり、区民の皆様が事業の趣旨や今後目指すべき下京区の未来像を分かりやすく示すため、記念事業の冠となるキャッチコピーを作成するとともに、記念事業であることを公認し、広く区民に周知・機運醸成を図るため、シンボルマークを作成した。作成にあたっては、プロポーザル方式により作成業務委託を募集した結果、キャッチコピー7作品、シンボルマーク10作品の応募があった。事前審査により、5作品・4作品を候補に選定し、これを基に、区民投票を行った。区民投票については、下京のひびき9月15日号1面等に掲載し周知を図ったうえ、下京区役所・下京図書館・下京青少年活動センター・区内小・中・高等学校・大学で投票を実施し、郵送・FAX、メールでも受け付け、得票数の最も多いものを選定した。投票期間 9月3日(月)～10月3日(月) 投票数 約3,700票 <b>2 ウェブサイト等の開設</b> 広報を強化するために、周年事業のウェブサイト、インスタグラムを開設した(フェイスブックについては、区役所既存のフェイスブックと兼用)。 <b>3 100日前のスマイル・カウントダウンの実施</b> 140周年の認知度向上と機運醸成を図るため、140周年にあたる31年3月14日の100日前(12月4日)から当日まで、下京区役所総合庁舎1階入口及びインスタグラムにおいて、下京区ゆかりの皆様笑顔の写真と下京区へのメッセージとともに、「あと〇〇日」と表示するカウントダウンを実施した。 <b>4 おもてなしのまち下京区 安心安全強化活動～2019春の陣～下京区140周年記念セレモニー・啓発パレード(再掲)</b> <b>5 JR梅小路京都西駅開業×140周年記念事業「フォトモザイクアート」</b> 西日本旅客鉄道(株)京都支社、京都駅ビル開発(株)とともに、区内の保育園児や多くの皆さんから応募があった写真を組み合わせて、1枚の大きな絵を制作した。	令和元年度も、より一層魅力あふれる下京区を実現するため、下京区140周年記念事業実行委員会の下、区民や事業者等の皆様とともに多彩な取組を創出する。また、下京区140周年記念事業実行委員会主催事業として、以下の事業を実施する。 <b>○記念式典・祝賀会の開催</b> <b>○記念事業</b> ・「Power of Light しもぎょう伝燈祭」 下京区内の寺社等において使用済みとなった「和ろうそく」を溶かし再成型したものを使用し、地球環境に配慮した灯りのイベントを地域ぐるみで開催。 ・「モニュメントの制作」 <b>○記念誌の制作</b>	地域力推進室 企画担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	第2期下京区基本計画に関する区民アンケートの実施	区民が主役の「第2期下京区基本計画(2011～2020)」の推進に向け、様々な分野でまちづくりに関わる方々から、幅広く意見をいただき、区政に反映するため、「下京区民まちづくり会議」を開催します。30年度は、計画の総括として、多くの区民の方々の実感や意見をお聞きするため、区民アンケートを実施します。	<b>1 下京区民まちづくり会議の開催</b> 日時 ①5月21日(月)14時～15時 ②3月6日(水)13時30分～14時30分 場所 下京区役所会議室 参加者 ①49人 ②46人 議題 ①30年度下京区運営方針、区民アンケートの実施について ②30年度下京区運営実績、31年度下京区運営方針(案)、第3期下京区基本計画策定(案)について <b>2 区民アンケートの実施について</b> 現行の第2期基本計画(平成23～32年度)に基づく取組等について、区民の皆様の実感や意識を調査することにより、現行計画の検証を行い、第3期計画策定の参考とするため、アンケートを実施した。 期間 9月5日(水)～9月20日(木) 対象数 1,200人(住民基本台帳による無作為抽出) 回答数 455人(回収率 約38%)	令和元年度は、30年度に実施した区民アンケート結果等を踏まえ、第3期下京区基本計画の素案を検討する。	地域力推進室 企画担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	下京区内における自発的、主体的なまちづくり活動を支援します。30年度は、だれもが分かりやすく、申請しやすい制度となるよう、対象事業の枠や補助率等を見直します。また、全的に推進する「明治150年・京都のキセキ・プロジェクト」に関連する活動は、審査において、加点の対象とします。	募集期間 4月13日(金)～5月14日(月) 審査会 6月6日(水)・14日(木) 採択件数 28件(うち新規17件) <b>【主な採択事業】</b> <b>①七条大橋ライトアップ事業(七条大橋をキレイにする会)</b> 下京区を訪れる方へのおもてなしを演出し、七条大橋の魅力発信するため、七条大橋をライトアップした。 8月4日(土)～6日(月)(参加者:延べ約500名) <b>②水墨画にチャレンジ!(京都市立芸術大学)</b> 市立芸大生が講師になり、下京区小学校児童に水墨画の技法や特性、その背景となる歴史を学ぶ授業を実施。 7月18日(水)(参加者:30名×2回)、10月10日(水)・17日(水)(参加者:両日とも7名) <b>③レクチャーシリーズ 京都日本画の歩みと京都市立芸術大学-芸術資料館の作品を通して(京都市立芸術大学)</b> 市立芸大の歩みと資料館収蔵品を紹介する冊子を作成し、市立芸大教員等が講師となって、美術に関心のある区民が京都画壇の日本画について学ぶ講義を実施。 11月4日(日)・11日(日)・18日(日)(参加者:延べ59人) <b>④パトランと減災カフェによる防災減災活動(チームKUSABI)</b> 大規模災害の教訓から京都でも出来る防災減災に対する取組として、カフェスタイルで気軽に集まれる場を提供し、誰もがリーダーとなって、災害時に対応できるような方法を共有し、学べるワークショップを実施。 2月10日(日)(参加者:22名) <b>⑤川でつながる～自然とアートのまちづくり(崇仁高瀬川保勝会)</b> 市立芸大の教員や学生の指導により、子どもたちや高齢者が水辺の生命をモチーフにした作品を制作し、イベント(川デッサン)にて展示。 11月3日(土・祝)～5日(月)(観覧者:延べ約500人)	令和元年度は、下京区140周年の7つの分野別テーマに該当する事業を補助対象として、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを一層推進する。	地域力推進室 企画担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	「下京アフターワーズ」の実施	参加者が、まちづくりや起業へのアイデアを得て、下京区で活躍したいと思っただけききっかけとなるよう、地域の魅力を活かして活動するゲストによるトークセッションや、ゲストと参加者、参加者同士の交流会を実施します。	下京区の旬な人・モノ・場所を舞台に、地域の魅力を活かして活動する方々をゲストとして迎えて、その体験を共有し、ゲストと参加者、参加者同士の交流会を開催した。参加者は、新たな出会いやつながりの創出、起業マインドの醸成、地域の価値の再発見をすることができた。 ①9月5日(水)「stay in 下京」(再掲) 和泉屋旅館(植柳学区) 30人参加 ②3月20日(水)「SDGs～持続可能な未来のために、“自分ごと”のアクションをはじめよう～」 京都市サテライトパーク内「たまり場」(光徳学区)29人参加	今後も、様々な出会い・つながりの場を提供し、区内でもまちづくり活動を盛り上げていく。	地域力推進室 企画担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	地域コミュニティ活性化事業(「あつてよかった!町内会!」冊子の活用、地域力アップキャンペーン) ※重点取組以外の取組		・マンション町内会の設立支援 七条第三学区において、新たに建設されたマンション単位の町内会を設立するため、学区自治連合会と連携してマンション住民に働きかけた。	新たに建設されたマンションに町内会を設立してもらうため、学区自治連合会と連携し、相手毎に戦略を練りながら計画的にアプローチしていく。	地域力推進室 広聴担当
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	下京区ふれ愛ひろば(ふれあい事業) ※重点取組以外の取組		幅広い世代の区民が集い、互いに交流を深めることを目的に開催。昨年度から取り組んだ学区の自主運営方式を継続した他、京都市立芸術大学関連ブースを設け、移転の機運を醸成する機会とした。 日時 11月11日(日)11時～15時30分 場所 梅小路公園 来場者数 24,000人	下京区140周年記念事業とし開催する。事業内容(ブース出展者、ステージ出演者等)を見直し、市立芸大移転の機運醸成を図る機会とし、来場者へのPR方法を検討する。	地域力推進室 事業担当

基本方針	30年度重点取組			
	重点取組名	目標 ※記載変更不可!	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)

## 2 より一層信頼される区役所づくりのために

すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るといふ基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆様(来庁者)に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する	コンプライアンスの徹底	職員に、より一層、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、組織・制度の改正についても、窓口などで十分に説明を行い、区民の皆さんの理解を得られるよう努めてまいります。	<b>1 地域力推進室</b> 全庁きょうかん推進部会で話し合われた、公務員倫理の高揚等の庁内改革策について、所属長への伝達と各所属に対する周知を徹底している。また、適正な服務の確保に向けて、出勤調査及び職場巡察を実施し、所属及び職員一人ひとりのコンプライアンスに対する意識の向上に努めた。 <b>2 区民部</b> あらゆる機会をとらえて、公務員倫理・法令遵守の周知徹底を図るとともに、個人情報流出の防止及び迅速な事務処理を目指した。 <b>3 保健福祉センター</b> 服務規律の徹底を、機会あるごとに再確認している。また、取り扱う金銭が公金であることの意味付けを常に行い、再度公金取扱心得10則の周知徹底を図った。 窓口対応に当たっては、十分な説明を行い、市民への理解を得る努力を行った。	信頼される区役所づくりのため、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても、窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。 信頼される区役所づくりのため、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても、窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。	地域力推進室 区民部 保健福祉センター
	市民サービスの向上	サービスの状況を確認し、市民の目線に立ったきめ細かな対応を心掛けます。 また、課題とされる点について改善策を図り、実施することで、更なるサービスの向上に取り組めます。 常に分かりやすい庁舎案内表示に努めるとともに、職員の「伝える力」「聴く力」を磨き、情報を迅速に分かりやすく伝えます。	<b>1 地域力推進室</b> 窓口サービスアンケートの結果を活用した職場会議等の実施を進め、各所属における改善策等の立案を図った。 <b>2 区民部</b> マイナンバーカードをお持ちの方について、住民票などの各種証明書を全国のコンビニで取得できるサービスが平成31年1月15日から開始。またコンビニ交付と同様の端末機を市民窓口課に設置し、請求書の記載の省略等、証明書発行の更なる迅速化や市民サービスの向上に取り組んだ。 ・職員の「伝える力」「聴き出す力」「受け止める力」を向上させ、窓口、電話及び郵便で接する市民の皆さまに信頼される職場づくりを目指した。 <b>3 保健福祉センター</b> 来庁者には積極的に声をかけを行い、用件を正確に把握し、正しい窓口へ案内できるよう努めた。	サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の働き方に関しても職場全体で考える機会を醸成することにより、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。 サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の「伝える力」「聴き出す力」を磨き、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。 サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の働き方に関しても職場全体で考える機会を醸成することにより、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。	地域力推進室 区民部 保健福祉センター
	庁内プロジェクトチームの設置	若手職員を中心として「働き方改革」及び「伝える力」「聴く力」の2つの庁内プロジェクトチームを立ち上げます。 「働き方改革」チームでは、効率的な事務の遂行や仕事をスムーズに行ううえでの工夫などを検討し、その提案を実施し、その経験や結果を各所属にフィードバックする仕組みづくりに取り組みます。 「伝える力」「聴く力」チームでは、さらに多くの区民に閲覧してもらえるよう、「下京区役所ウェブサイト」の内容の充実を検討します。	<b>1 働き方改革プロジェクトチーム</b> 効率的な事務の遂行や工夫、庁内の雰囲気など、あらゆる角度から働き方改革に繋がる取組を検討し、市民サービスはもちろんのこと、職員のワーク・ライフ・バランスの向上を目指した。今年度は1階ロビー等のレイアウトや、ポスター、チラシ掲示の運用方法を見直し、庁舎内を使いやすく明るい雰囲気に変え、市民サービスと職員のモチベーションの向上に取り組んだ(照明のLED化、ロビー内に音楽、チラシ等掲示ルールの策定)。 <b>2 伝える力・聴く力プロジェクトチーム</b> 市民に親しまれる区役所を目指し、SNS等で区役所の取組やイベントの情報を発信した。また、下京区140周年の周知と機運醸成を目指し、Instagramアカウント(下京区140周年記念事業実行委員会)で下京区140周年の取組紹介や、下京区のマスコット「シモンちゃん」のPR動画の作成及び発信を行った。	区民の皆さまに親しまれ、気軽に利用していただける区役所づくりのために、「下京区役所庁内市民サービス向上等検討チーム(庁内プロジェクトチーム)」を設置し、市民サービスの向上に積極的に取り組んでいく。 プロジェクトチームのメンバーが目的別に課題意識を持ち、意見交換などを行うことにより、具体的な活動に発展させ、市民サービスの向上につなげていく。	地域力推進室 庶務担当、 企画担当